

2025年1月27日
主催 一般社団法人電線総合技術センター
[協賛] 一般社団法人日本電線工業会

第99回 JECTECセミナー開催のご案内
「電線被覆材料(その他材料含む)の難燃化技術の動向」

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、難燃材料に関する最新情報を電線業界及び周辺企業・団体の皆様へ提供することを目的にセミナー「電線被覆材料(その他材料含む)の難燃化技術の動向」を開催することとなりましたのでご案内いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。 敬具

記

- 講演内容 **講演1：難燃材料の基礎、種類、及び各分野のニーズ**
一般社団法人難燃材料研究会 会長 大越雅之 氏
講演2：難燃性をはじめ様々な機能を付与するフィラーとしての水酸化アルミニウム
住友化学株式会社 ICT&モビリティソリューション研究所 無機材料Gr 川村祐介 氏
講演3：難燃性と諸特性を両立する次世代Mg(OH)₂材料の設計と展開
協和化学工業株式会社 (セトラスホールディングスグループ)
セトラスホールディングス株式会社 R&D本部 研究開発部 新技術開発課 阿部俊貴 氏
講演4：電線被覆難燃材料の規制動向（事例紹介、代表燃焼試験紹介）
一般社団法人電線総合技術センター 試験・研究部 主席 菊池龍太郎
- 開催日時 : 2025年2月27日(木) 13:00～16:40
- 開催形式 : Web形式(Zoom)
- 受講料 : JECTEC会員 ; 5,500円(税込) JCMA会員 ; 7,700円(税込) 非会員 ; 11,000円(税込)
- 定員 : 50名
- 申込方法 : 受講申込書へ必要事項をご記入の上、メールにてお申し込みください。
- 申込期間 : 2025年1月27日(月)～2月17日(月)
- キャンセル期限 : 2025年2月20日(木)17:00まで
* 期限を過ぎてからのキャンセルはお受けいたしかねます。
- 補足 : 講演資料、及びミーティングID・パスコード(Zoom)を
2月21日(金)にメールにて送信予定です。
- お問合せ先 : 広報・研修部 小栗
TEL:053-428-4688 E-mail:oguri@jectec.or.jp

以上

第99回 JECTECセミナー 電線被覆材料(その他材料含む)の難燃化技術の動向 プログラム

2025年2月27日(木)

時 間	項 目
12:45～	Zoom入室受入開始
13:00-13:05 (5分)	開会、挨拶
13:05-14:05 (60分) (質疑応答含む)	<p>題目： 難燃材料の基礎、種類、及び各分野のニーズ</p> <p>講演： 一般社団法人難燃材料研究会 会長 大越雅之 様</p> <p>要旨： 下記の通り、難燃材料の基礎、種類、及び難燃剤の各分野のニーズについて解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①難燃材料の基礎；燃焼現象、及び難燃メカニズムについて ②難燃材料の種類；難燃メカニズムに対応した難燃材料の種類について ③難燃剤の各分野のニーズ；難燃材料の拡大需要分野について
14:05-14:15 (10分)	休憩
14:15-14:45 (30分) (質疑応答含む)	<p>題目： 難燃性をはじめ様々な機能を付与するフィラーとしての水酸化アルミニウム</p> <p>講演： 住友化学株式会社 ICT&モビリティソリューション研究所 無機材料Gr 川村祐介 様</p> <p>要旨： 水酸化アルミニウム（以下、水アル）は、$Al(OH)_3$もしくは$Al_2O_3 \cdot 3H_2O$で表される水酸化物である。加熱により脱水する結晶水の働きにより難燃性を付与できるフィラーとして、様々な用途で使用されている。一方、水アルは難燃性だけでなく、意匠性や放熱性といった多様な機能を付与でき、用途に応じた粉体特性を有している。本講演では、水アルの特徴や製造方法について紹介する。</p>
14:45-14:50 (5分)	講演準備
14:50-15:20 (30分) (質疑応答含む)	<p>題目： 難燃性と諸特性を両立する次世代$Mg(OH)_2$材料の設計と展開</p> <p>講演： 協和化学工業株式会社（セトラスホールディングスグループ） セトラスホールディングス株式会社 R&D本部 研究開発部 新技術開発課 阿部俊貴 様</p> <p>要旨： 水酸化マグネシウム($Mg(OH)_2$)は、安全性が高い物質で、燃焼時に有害なガスの発生がないため、環境規制や安全性が求められる分野においてノンハロゲン系難燃剤として広く使用されてきた。しかし、他の難燃剤に比べて難燃化効果が低く、多量添加により樹脂特性が損なわれるという課題があった。本講演では、弊社で取り組んだ、添加量が低減でき、難燃性と樹脂特性の両方を維持することが可能な高難燃性$Mg(OH)_2$の開発について紹介する。</p>
15:20 - 15:30 (10分)	休憩
15:30 - 16:30 (60分) (質疑応答含む)	<p>題目： 電線被覆難燃材料の規制動向（事例紹介、代表燃焼試験紹介）</p> <p>講演： 一般社団法人電線総合技術センター 試験・研究部 主席 菊池龍太郎</p> <p>要旨： 欧州を中心に化学物質の規制化が進んでいるが、その動向を電線被覆材に使用する難燃剤を視点を解説する。芳香族臭素系難燃剤を使用する電線被覆材の現状をハロゲンフリー処方と比較し代替の困難さを問うとともに本年弊所が取り組んだ活動内容を紹介する。今後の規制動向に関しては、これから進むエコデザイン規則を想定した被覆材難燃性に関する課題を提言する。燃焼試験については弊所の代表的な5つの装置を紹介する。</p>
16:30-16:40 (10分)	アンケートのお願い、閉会

* 講演内容、講演時間につきましては若干変更する場合がございます。